

## 応援されるチームの条件

5月には2つの大きな宿泊行事がありました。1年生の赤城宿泊学習と3年生の修学旅行です。どちらの宿泊行事でも実行委員さんが本当によく頑張りました。大成功のうちに行事を終了することができたのも実行委員さんのおかげです。ありがとうございました。各学年とも成果と課題を整理しているはずですが、日々の学校生活の中で、課題の解決をしっかりと図ってください。よろしくお祈りします。学年の先生方は見届けをお願いします。

本日の全校朝会では、まず通信陸上競技大会県大会のお話をします。県大会の個人種目で2名（小南さん・女子3年100m第2位、大木さん・女子円盤投げ第8位）の生徒が入賞を果たしました。そして、女子4×100mRでは「優勝」という快挙を成し遂げたのです。埼玉県内にはさいたま市も含め、中学校は446校（R5年度調査）あります。446校の頂点です。文武両道の富士見の面目躍如です。 ※動画の視聴

先日、リレーのメンバー4名（大澤さん・嶋田さん・小南さん・道口さん）が校長室に優勝の報告に来てくれました。そこでいろいろなお話を4名から聞きました。新人戦の県大会ではバトンミスがあってとても悔しかったこと、悔しさをバネに努力を続けたこと、バトンがスムーズに渡るように、走り出すタイミングや歩数を繰り返し確認し練習したこと、手のひらにバトンを置く目安で星マークをマジックで書いていたこと…本当にたくさんのお話を聞きました。印象深かったのは、4名の100mの持ちタイムを単純に合計するだけではとても優勝できるタイムではないということでした。今回の優勝はメンバーの努力や工夫があってこそその快挙なのです。しかし、それだけではありません。県大会1日目のリレーの予選が始まる時のことでした。スタジアムの一角に陣取っていた陸上部の皆が立ち上がり声を合わせて声援を送りました。とても大きな声になりましたから選手たちの耳にも届いたはずですが、応援が力になったことは間違いないと思います。

もうすぐ部活動の大会（学校総合体育大会）やコンクールが始まります。この大会等で3年生は引退です。悔いが残らないよう、これまでの練習の成果を発揮してほしいです。そのためにも、大会等に臨む皆さんには「応援されるチーム」であって欲しいと考えています。「応援されるチーム」には、3つの条件があるようです。1つ目は一生懸命であることです。試合中はもちろん、日頃の練習にひたむきに一生懸命に取り組んでいるチームは周りから応援されるのにふさわしいチームです。2つ目は、明るく礼儀正しいということです。試合会場で、明るくさわやかな挨拶ができること、返事をしっかり元気にできること、笑顔を忘れず周りの人に接すること、会場の係や試合の補助などの仕事を気持ちよくできること…そういうチームのことは、誰もが自然に応援したくなります。3つ目は、日頃の学校生活がしっかりしていることです。部活動だけは一生懸命にやるというのはいけません。日頃からルールを守り、仲間を大切に、学級や学年に貢献している生徒・チームは当然、応援されるべきです。応援されるチームは強いです。今回のリレーのように周りの声援が力となり、普段通りの、時には普段以上の力を発揮できるのだと思います。

来週からの学総市予選会には私も応援に回ります。富士見中の頑張りに期待します。